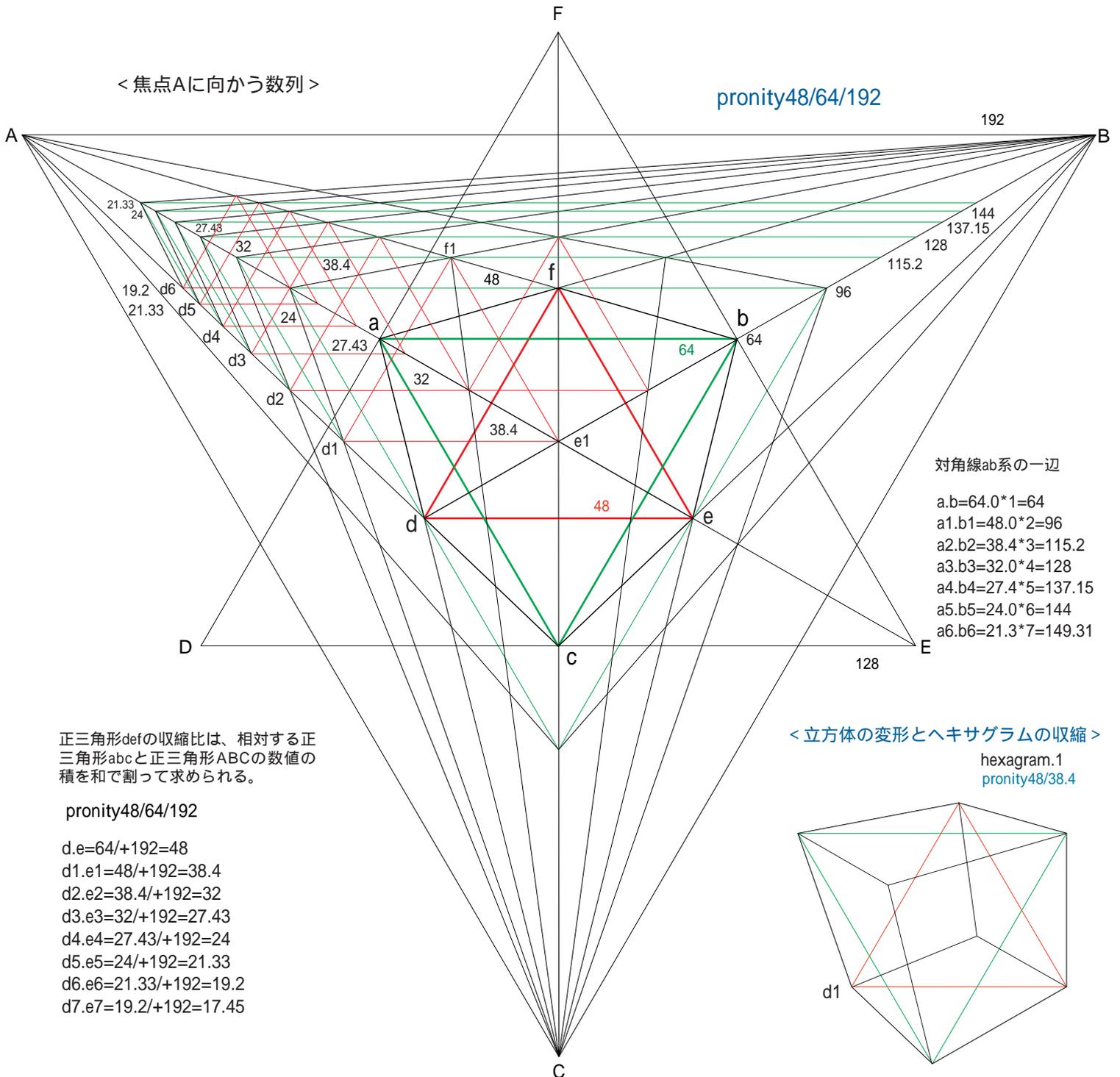


正三角形ABC空間のヘキサグラム(立方体)による分割

2つの正三角形 $abc=48, def=64$ からなるヘキサグラムとプロニティーの関係にある正三角形 $ABC=192$ において、焦点 ABC に向かう連続するヘキサグラムの数値は、 $pronity48/64/192$ の関係から求められる。正三角形 abc と正三角形 def は相互循環を繰り返しながら3つの焦点に向かって収縮していく。この収縮比は $pronity192$ に対して $64(abc)$ から始まり($def=48$)、次に $48(a1b1c1)$ が対応し 38.4 の数値($d1e1f1$)となる。この関係を無限に繰り返し焦点へと向かう。



< 焦点Aに向かう数列 >

pronity48/64/192

対角線ab系の一辺

- a.b=64.0*1=64
- a1.b1=48.0*2=96
- a2.b2=38.4*3=115.2
- a3.b3=32.0*4=128
- a4.b4=27.4*5=137.15
- a5.b5=24.0*6=144
- a6.b6=21.3*7=149.31

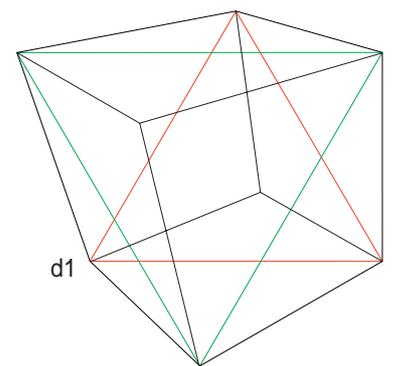
正三角形defの収縮比は、相対する正三角形abcと正三角形ABCの数値の積を和で割って求められる。

pronity48/64/192

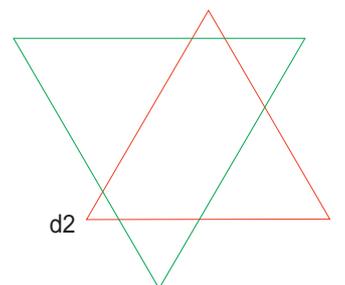
- d.e=64/+192=48
- d1.e1=48/+192=38.4
- d2.e2=38.4/+192=32
- d3.e3=32/+192=27.43
- d4.e4=27.43/+192=24
- d5.e5=24/+192=21.33
- d6.e6=21.33/+192=19.2
- d7.e7=19.2/+192=17.45

< 立方体の変形とヘキサグラムの収縮 >

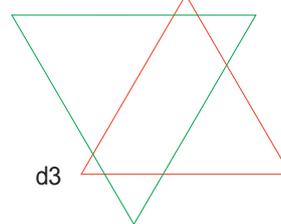
hexagram.1
pronity48/38.4



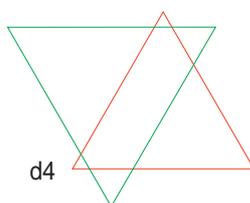
hexagram.2
pronity38.4/32



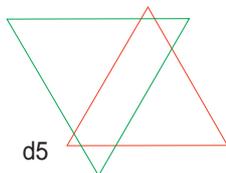
hexagram.3
pronity32/27.43



hexagram.4
pronity27.43/24



hexagram.5
pronity24/21.33



hexagram.6
pronity21.33/19.2

